

輸出事業計画

※申請者名：井村屋株式会社 品目：ロングライフ豆腐、冷凍カステラ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

『カステラ』については、21年度より米国大手小売業を中心に需要が急増しており、22年度も引き続き好調に販売。『豆腐』については、同様に21年度から香港で需要が急増。また、賞味期間180日の実現により、中国・ASEAN(マレーシア、シンガポール等)の大手小売業からも豆腐を供給するよう要請されている。

【課題】

現在、需要はあるものの、それに見合う設備・製造キャパシティが不足しており、十分な輸出対応ができていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

輸出食品は、遠距離であっても流通できる長期の保存期間が求められており、現状需要に見合う設備・製造キャパシティが不足しているため、工場を新設する。豆腐については、賞味期間冷蔵180日の製造・展開ができるようにHACCP管理に対応したレトルト殺菌装置等の豆腐製造設備を導入。また、カステラについては、本来賞味期間が短いですが、冷凍することで賞味期間を延ばせるよう、新工場にHACCP管理に対応したカステラ製造設備(包装設備、スライサー等)、大型冷凍庫を導入。2023年6月5日にFSSC22000の認証を取得し、輸出拡大を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PLAN 計画 ニーズを握し、製品規格を検討する。
(井村屋株式会社、井村屋グループ株式会社)

DO 実行 現地の商社を交えて商談し、商流を構築する。

ACTION 改善 現地商社からの情報を元に計画を見直す。

CHECK 評価 現地の商社を通じて小売での情報を入手する。

4. 輸出目標額

	現状 (令和3年度)		目標年 (令和9年度)	
	ロングライフ豆腐	冷凍カステラ	ロングライフ豆腐	冷凍カステラ
輸出額(千円)	154,960	169,740	800,000	1,500,000
輸出量(t)	287	236	1,482	2,083
輸出先国	香港	米国	香港、中国、マレーシア、シンガポール、米国	米国